

2019年5月10日

住友生命保険相互会社

PHR 事業会社の「株式会社プラスメディ」に出資

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、PHR（Personal Health Record）※事業等を手掛けるスタートアップ企業である株式会社プラスメディ（代表取締役社長 永田 幹広、以下「プラスメディ」）に出資いたしました。

プラスメディは、病院の医事会計システムと電子カルテシステムの双方と連携した独自のソリューションを提供しており、2019年6月には東京都済生会中央病院で、スマートフォンアプリ「MyHospital」のトライアル運用を開始致します。

住友生命は、プラスメディと共同で、これまで培ってきた知見やノウハウを活用しながら、病院との連携を通じて新たなサービスの開発を進め、医療手続き等に関する社会的課題の解決に積極的に取り組んでおります。今回の出資によって、スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボを通じて、新たなデジタル・サービスの検討をさらに推進してまいります。

<MyHospital アプリ概要>

日本初の病院連携、薬局連携により「MyHospital」アプリで個人の健康情報を一括管理。医療機関、利用者に便利で効率的なサービスを提供。

病院メリット：患者満足度向上・経営効率化、経費削減 等
患者メリット：病院滞在時間短縮・利便性向上 等

複数の病院診察券を一本化

- 複数病院の診察券をスマホ内に格納。
- 再診の予約も可能。
- 診察待ちの順番お知らせ機能

病院、薬局で多様な決済が可能

- 会計待ちがなくオンライン決済
- 複数の決済手段を準備

処方箋デジタル化

- 処方箋を事前にデジタル化で入手。
- 事前に薬局に送信が可能。待ち時間が減少。
- 写真で撮影し送信も可能

お薬手帳の一本化及びオンライン化

- 病院の電子カルテと連携により入力不用
- 複数の薬局に対応可能
- 飲む忘れ等の便利な機能

病院電子カルテ情報のスマホ内格納

- 電子カルテ連携によりデータが格納
- 人間ドックデータも連携可能
- 血液検査、CT、MR等のデータ連携

ヘルスケアサービス

- データを元に多様なサービスを提供
 - ・ 予防医学
 - ・ 健康管理
 - ・ お薬飲み合わせ 等々

「日本初の病院連携」とは、病院の診察受付から会計、処方箋送信の一貫したサービス連携が日本初（プラスメディ調べ）

※PHR（Personal Health Record）とは、複数の医療機関や薬局などに散在する健康関連の情報を1カ所に集約する仕組みです。身長や体重、血液型、アレルギー・副作用歴といった基本情報や、医療機関の診療記録、薬局の投薬履歴などの情報を一元管理することが目的です。

■スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボについて

住友生命は、2018年4月、イノベーションを推進する拠点として、東京と米国シリコンバレーに「スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボ」を開設いたしました。米国シリコンバレーでは、当社100%子会社であるシメトラとも協業して現地でのネットワークづくりを加速してまいりました。今後も、最新のテクノロジー収集力向上と迅速な実証実験を通じて、イノベーティブなビジネス・サービスの創造を目指してまいります。

※詳細につきましては、住友生命のニュースリリースを参照ください。

<http://www.sumitomolife.co.jp/about/newsrelease/pdf/2017/180213.pdf>

■プラスメディについて

オンライン医療コンシェルジュとしてより身近な医療サービスを提供している PHR 事業会社です。最適な医療を受けられる仕組みを病院・診療所側と患者側の双方に提供することで、日本の医療環境を最適化していくことを目的とした「health care company」です。

所在地：東京都新宿区若松町 15-16

設立：2016年12月15日

事業：医療系アプリ事業、ヘルスケア事業

※詳細につきましては、プラスメディのホームページを参照ください。

<http://plus-medi-corp.com/>

以上